

ホームページへの掲載		
済	2月 18日	掲載予定

岐阜県立大垣工業高等学校

学 校 長 米澤 信雄

学校住所 岐阜県大垣市南若森町301-1 電話 0584-81-1280

1 会議の名称 大垣工業高等学校評議員会（第 3 回）

2 会議の構成 委 員

岡田 博志	本今西自治会長
川北 多美子	同窓会副会長
森 哲也	(株)東伸 人事部長
山口 正義	本校歯科医
山田 益規子	山田省三商店

(委員名は五十音順)

学 校 側	米澤 信雄	校長	
	川上 邦雄	事務部長	
	黄倉 寿雄	副校長	(欠席)
	清水 由光	教頭(全日)	
	原 要	教頭(全日)	
	岡本 春信	教諭(全日:教務主任)	
	小野 哲男	教諭(定時:教務主任)	
	山内 義之	教諭(全日:生徒指導主事)	
	岩田 正雄	教諭(全日:進路指導主事)	
	山田富美義	教諭(全日:工業部長)	(欠席)

3 会議の目的 岐阜県立大垣工業高等学校評議員会設置要綱に基づき、自己評価を説明して、協議事項「今年度の反省と来年度に向けて」について提言を受ける。

4 会議の開催 平成22年1月29日(金) 14:00~15:00 大垣工業高校 本校1階会議室
委員5人と学校側8人が出席

5 会議の概要

(1) 学校長挨拶 今年度は世の中の動き(未曾有の不景気と新型インフルエンザ)に振り回されてきた感がある。しかし、就職内定率は希望者の98%となっており、2学期学級閉鎖をしたり、運動会・強歩大会を中止したりしたが、現在は感染者が0となって落ち着いている。伝統行事を中止した影響が、どのようであるのか心配している。また卒業式は厳粛に行いたい。紅白幕を購入して、りっぱに卒業生を送りだすことにしている。

(2) プレゼンによる1年間の歩み (教務部)

(3) 自己評価に基づき各分掌(教務・生徒指導・進路指導・工業部・定時制)からの説明

(4) 協議

「今年度の反省と来年度に向けて」

意見 1 地域住民としては、先生方の指導で、生徒が生き生きとしているように見受けられる。

意見 2 定時制がよく頑張っている。先生と生徒の一体感がよくわかった。

意見 3 自分の夢はフリーターをなくすことである。夢を持たせて頑張らせてほしい。
下足箱を見ると、その学校がわかる。先生のカラーが生徒に出ると思う。

意見 4 学校内で連携・情報共有がよくできているようである。「OBがどのように活躍しているか」を知ると、「夢を持つ」きっかけとなると思う。

学校 伝統とは何か、それは建物などではなく、今ある「生徒の姿」である、と思っている。
それを見せるべく、努力していきたい。

意見 5 メールは危機管理に役立つので、これからも活用してほしい。

意見 6 本校を卒業して30年経った。昔とは変わっている。大工Dayやインターンシップの活動が素晴らしい。学生の時から体験をする大切さを教えてほしい。またいろいろな行事は必要である。母親の立場で見ると、行事で生徒が生き生きとしているようすがありがたい。

意見 7 企業としては、景気が回復しないが、コストを抑えるのは限界があるが、人を伸ばすのは限界がない。「目の前にゴミがない」という会社でないと伸びない。掃除ができない会社は倒産してしまう。学校では基本中の基本をしっかりとってほしい。面接試験で「掃除は好きですか」の問いに「嫌いではありません」という答えをする生徒は駄目である。

(5) その他

部活動成績の報告

就職・進学状況の報告

第2回学校評議員会の対応状況報告

(6) 学校長お礼のことば 今年度、本校では退学者が減っている。また不登校の生徒も少ないのはありがたいことである。大工Dayやインターンシップでは学校の広報や生徒の技術を身につける、という目的もあるが、教室では身につけることができない「コミュニケーション能力」を身につけることができる。地域や企業の方と話をすることが大切だと思っている。これからも大工応援団としてよろしくお願いします。

(7) 百人一首大会(決勝)観戦 (豊栄館)